

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 設立趣意書

成熟社会を迎えた我が国では、経済成長一辺倒ではなく、自然豊かで良好な環境で健康に暮らすことができる社会を求める価値観のパラダイムシフトが起きています。これからの時代、人が自然とより良く関わることのできる緑と水の豊かな生活空間を形成することが、さらに求められていくと考えます。

一方で、気候変動に伴う自然災害の頻発・激甚化、人口減少・少子高齢化の進展に伴う管理放棄地や低未利用地の増加、国際的な都市競争の激化といった様々な課題への対応が急務となっています。

これらの課題解決に向けては、自然環境の持つ多様な機能を賢く利用するグリーンインフラの取組を通じ、次世代を見据えた効果的・効率的な社会資本整備や土地利用、ひいては持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めることが重要だと考えます。

こうした取組は、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」とも親和性が高く、様々な社会的課題の同時解決につながる大きな可能性を有しています。

我が国において、グリーンインフラを推進するためには、国、地方公共団体、民間企業、大学、研究機関等、多様な主体が幅広く参画し、各自の知見、ノウハウや技術を持ち寄り、グリーンインフラを広げていくことが必要不可欠です。

こうした認識のもと、私たちは、広範な主体の積極的な参画と連携により、グリーンインフラの社会実装を推進することを目的に、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」を発足することとしました。

皆様のご賛同・ご参画をお願い申し上げます。

令和2年3月19日